



平成19年10月30日

各位

会社名 **株式会社フジナ**
 代表者名 代表取締役社長 堀 直 樹
 (コード番号: 5955 大証第2部)
 問合せ先 総合企画部長 秋 山 由 光
 TEL 075(591)2131

平成20年3月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月15日の「平成19年3月決算短信」で公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間業績予想数値

(1) 平成20年3月期(連結)中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(未表示金額単位:百万円、表示数字以下は切り捨てております)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り中間純利益
前回発表予想 (A)	3,400	△40	45	1,040	6.64 ^円
今回修正予想 (B)	3,350	4	82	846	5.40 ^円
増減額 (B-A)	△50	44	37	△194	△1.24 ^円
増減率 (%)	△1.4%	-	82.2%	△18.6%	△18.6%
ご参考 前期(平成18年9月期)実績	3,538	△173	△50	24	0.15 ^円

(2) 平成20年3月期(個別)中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(未表示金額単位:百万円、表示数字以下は切り捨てております)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り中間純利益
前回発表予想 (A)	2,270	△50	△30	945	6.03 ^円
今回修正予想 (B)	2,236	△10	7	797	5.09 ^円
増減額 (B-A)	△34	40	37	△148	△0.94 ^円
増減率 (%)	△1.4%	-	-	△15.6%	△15.5%
ご参考 前期(平成18年9月期)実績	2,454	△200	△135	△71	△0.45 ^円

(3) 業績予想修正の理由

中核となる金属製品事業におきましては、金属材料を始めとする原材料費の上昇が相次ぎ、合理化努力で生産効率の向上に取り組みました。また、原価構成の見直しにより不採算品の価格転嫁に努めた結果、利益率が改善し、営業利益、経常利益とも業績予想を上回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、採算性向上策のインフラとして導入を進めております、工場内物流合理化プロジェクト並びに基幹システム・リストラクチャリングの進捗に伴って発生する資産の除却を断続的に行うなどの結果、特別損失が増加したため、業績予想を下回る見通しとなりました。

なお、本年10月18日公表の持分法適用関連会社であった株式会社アールエスとの資本提携の解消による利益影響額は、経常利益△13百万円、当期純利益△37百万円であります。

2. 通期業績予想数値

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期業績予想につきましては、本年11月14日に予定しております中間決算発表時に併せてお知らせいたします。

以上